

- (19) Japanese Patent Office (JP)
- (12) Utility Model Publication (U)
- (11) Utility Model Publication Number: 1994-86466U
- (43) Publication Date: December 20, 1994
- (51) Int. Cl.: A01K 87/06
 - Patent Office file Number: B 9228-2B
 - Examination Request: Not Requested
 - Number of Claim: 1 FD (3 pages)
- (21) Application Number: 1993-33813U
- (22) Application Date: May 29, 1993
- (71) Applicant: DAIWA SEIKO, INC.
 - 3-14-16, Maesawa, Higashikurume City, Tokyo
- (72) Inventor: YAMAMOTO, SHIGERU
 - Daiwa Seiko, Inc.
 - 3-14-16, Maesawa, Higashikurume City, Tokyo
- (72) Inventor: KIMURA, SHUICHI
 - Daiwa Seiko, Inc.
 - 3-14-16, Maesawa, Higashikurume City, Tokyo
- (74) Agent: Attorney OCHI, TOSHIRO

(54) [Title of Invention] CYLINDRICAL REEL SEAT

(57) Abstract

[Object] It is an object to provide a cylindrical reel seat which enables to improve grippability during fishing rod operation and to facilitate operation of tightening and loosening a tightening tube when attaching and detaching a fishing reel.

[Configuration] A cylindrical reel seat 12 comprises a reel leg placing portion 24 formed in a reel seat body 14, and a pair of hoods 16, 18 arranged opposite in front and back of the reel leg placing portion 24, at least one of which is formed as a movable hood 18, and a tightening tube 20 screwed together with a screw portion formed in the reel seat body 14 to move the movable hood 18, wherein an outer periphery region 20A is smoothly formed in a periphery of the tightening tube 20 and in the movable hood side, and a slip stop portion 20B is formed in the distal side from the movable hood 18.

[Claims]

1. A cylindrical reel seat comprising:
 - a reel leg placing portion formed in a reel seat body 14;
 - a pair of hoods arranged opposite in front and back of the reel leg placing portion, at least one of which is formed as a movable hood, and
 - a tightening tube screwed together with a screw portion formed in said reel seat body to move the movable hood;
 - wherein an outer periphery region is smoothly formed in a periphery of said tightening tube and in said movable hood side and a slip stop portion is formed in the distal side from said movable hood.

[Brief Explanation of Drawing]

[FIG. 1] a side view of a cylindrical reel seat related to the present invention

[FIG. 2] a vertical cross sectional view of the cylindrical reel seat in FIG. 1

[FIG. 3] a state view of holding the reel seat in FIG. 1

[Explanation of Reference Numeral]

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 10 | Rod Pipe |
| 12 | Cylindrical Reel Seat |
| 14 | Reel Seat Body |
| 14R | Screw Portion |
| 18 | Movable Hood |
| 20 | Tightening Tube |
| 20A | Smooth Outer Periphery Region |
| 20B | Slip Stopping Portion |
| 22 | Fishing Reel |
| 24 | Reel Placing Portion |

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-86466

(43)公開日 平成6年(1994)12月20日

(51)Int.Cl.⁵

A 0 1 K 87/06

識別記号

庁内整理番号

B 9228-2B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 実願平5-33813

(22)出願日 平成5年(1993)5月29日

(71)出願人 000002495

ダイワ精工株式会社

東京都東久留米市前沢3丁目14番16号

(72)考案者 山本 茂

東京都東久留米市前沢3丁目14番16号 ダイワ精工株式会社内

(72)考案者 木村 州一

東京都東久留米市前沢3丁目14番16号 ダイワ精工株式会社内

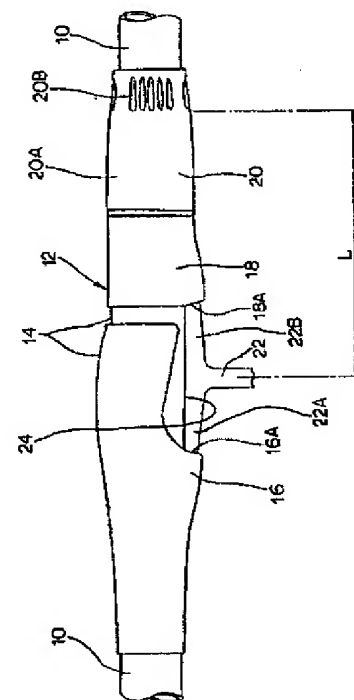
(74)代理人 弁理士 越智 俊郎

(54)【考案の名称】 筒状リールシート

(57)【要約】

【目的】 釣竿操作時の把持性を向上させると共に、魚釣り用リールの取付け取外しに際して緊締筒を締付けたり緩めたりする操作を容易にさせる筒状リールシートの提供を目的とする。

【構成】 リールシート本体14に形成したリール脚載置部24と、該リール脚載置部24の前後に対向配設すると共に、少なくとも一方を移動フード18とした一対のフード16、18と、前記リールシート本体14に形成した螺子部に螺合して前記移動フード18を移動させる緊締筒20とを有する筒状リールシート12において、前記緊締筒20の外周であって、前記移動フード18側の外周領域20Aを滑らかに形成し、前記移動フード18から遠い側に滑り止め部20Bを形成するよう構成する。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 リールシート本体に形成したリール脚載置部と、該リール脚載置部の前後に対向配設すると共に、少なくとも一方を移動フードとした一対のフードと、前記リールシート本体に形成した螺子部に螺合して前記移動フードを移動させる緊締筒とを有する筒状リールシートにおいて、

前記緊締筒の外周であって、前記移動フード側の外周領域を滑らかに形成し、前記移動フードから遠い側に滑り止め部を形成したことを特徴とする筒状リールシート。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 図 1 は本考案に係る筒状リールシートの側面図である。

【図 2】 図 2 は図 1 の筒状リールシート部の縦断面図で *

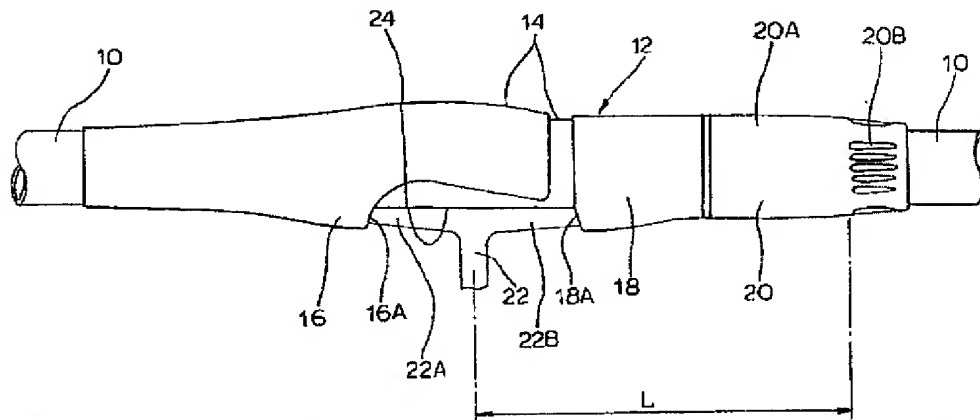
* ある。

【図 3】 図 3 は図 1 に示すリールシート部を把持した状態図である。

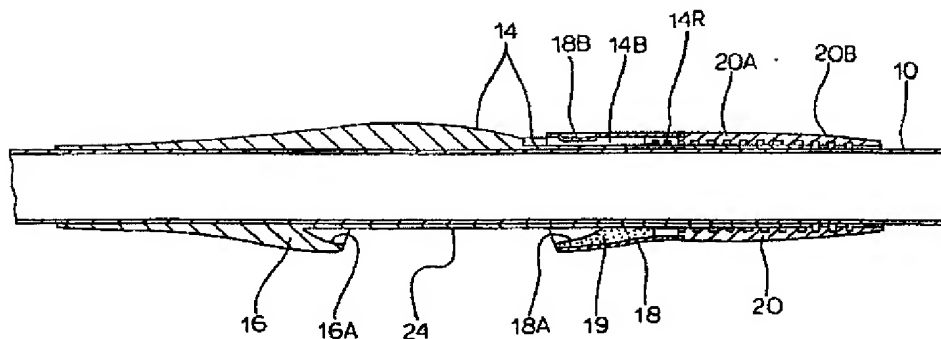
【符号の説明】

10	竿管
12	筒状リールシート
14	リールシート本体
14R	螺子部
18	移動フード
20	緊締筒
20A	滑らかな外周領域
20B	滑り止め部
22	魚釣り用リール
24	リール脚載置部

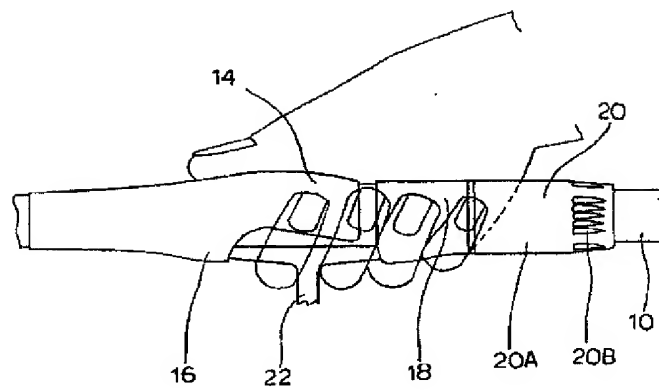
【図 1】



【図 2】



【図3】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、魚釣用リールの脚を固定する筒状のリールシートに関する。但し、本考案における該筒状リールシートは竿管に一体形成してあるものも含む。

【0002】**【従来の技術】**

筒状リールシートは、例えば、実開昭55-149372号公報や実開昭64-13969号公報に開示がある。前者では、移動フードや緊締筒が短く形成されて、リールシート本体の螺子部が露出し、しかも緊締筒の外周全体に滑り止めの凹凸条が設けられた構造が示されている。後者では、金属製移動フードを移動させる合成樹脂製の緊締筒の長さを長く形成すると共に、外周に滑り止め部を形成していない構造が開示されている。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

然しながら、前者の構造では、釣竿操作時に把持した手が螺子部や緊締筒の凹凸条に当り、力を入れて把持した場合に手に食い込んで痛く、釣竿操作時の把持感が良くない。また、操作時に手のひねり等の動きによって手が接触する緊締筒を不用意に緩めてしまうことがある。更に、この緊締筒を単に長く構成した場合は、その外周全体の凹凸条によって緊締操作は容易に行えるが、緊締力を意識的に調節しなければ締付け力が過大となり、リールシートの変形や破損が発生するおそれがある。

【0004】

後者では、緊締筒の長さが長くてリールシート本体の螺子部を覆うと共に、外周が滑らかであるため、緊締筒を不用意に緩めることがないと共に、釣竿操作時の把持感が向上するが、リールの緊締時に手が滑り易く、特に手が水で濡れていたり魚のヌメリが付着している場合には締付け力が不足することがある。

【0005】

依って本考案は、釣竿操作時の把持性を向上させると共に、魚釣用リールの取

付け取外しに際して緊締筒を締付けたり緩めたりする操作を容易にさせる筒状リールシートを提供を目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的に鑑みて本考案は、リールシート本体に形成したリール脚載置部と、該リール脚載置部の前後に対向配設すると共に、少なくとも一方を移動フードとした一对のフードと、前記リールシート本体に形成した螺子部に螺合して前記移動フードを移動させる緊締筒とを有する筒状リールシートにおいて、前記緊締筒の外周であって、前記移動フード側の外周領域を滑らかに形成し、前記移動フードから遠い側に滑り止め部を形成したことを特徴とする筒状リールシートを提供する。

【0007】

【作用】

緊締筒の移動フード側の外周領域を滑らかに形成しているため、リールシートにリールを取り付け、この部分を手で把持して釣り操作を行う際に手が緊締筒に当るのは滑らかな領域であり把持感が良く、かつ、釣り操作中の手の動きによって緊締筒を不用意に緩めることがない。即ち、把持性が良い。また、緊締筒に滑り止め部を形成しているため、魚釣り用リールの取付け取外しに際して該緊締筒を締付けたり緩めたりする操作が容易であり、更には、この滑り止め部を緊締筒の一部（移動フードから遠い側）に形成しているだけなので、必要に応じてその特定箇所である一部を釣人が意識的に把持して緊締操作すれば強く緊締させることができるが、普通に緊締筒を締付け操作する際には、その締付け力が過大になる虞がない。

【0008】

【実施例】

以下、本考案を添付図面に示す実施例に基づき、更に詳細に説明する。

図1は本考案に係る筒状リールシート12を竿管10に接着剤等によって一体的に固定した状態の釣竿の要部の側面図であり、図2はその縦断面図である。

【0009】

筒状リールシート12は竿管10に接着固定する合成樹脂製のリールシート本体14と、該本体14に対して一体の固定フード16と、該固定フード16に対向配設されている金属製の移動フード18と、該移動フード18を後部位置から移動させる合成樹脂製の緊締筒20とを具備している。リールシート本体14の前記固定フード16側にはリール脚載置部24が形成されている。一方、リールシート本体14の後部外周には螺子部14Rが形成されている。

【0010】

上記緊締筒20はその内周に前記螺子部14Rと螺合可能な螺子部が形成されており、この螺合によってリールシート本体14に対して前後に移動できる。またリールシート本体14には案内溝14Bが形成されており、移動フード18にはこの案内溝14Bに係合する係合部18Bが形成されている。緊締筒20はその前部によって前記移動フード18を回転可能に連結しており、緊締筒20の螺合移動に伴って、リールシート本体14の案内溝14Bに係合した前記移動フード18も前後に移動することができる。

【0011】

この移動フード18の内部には、図2に示すように硬質ゴムや合成樹脂のような弾性部材19を貼り付けられてリール脚22の足部22Bを受け入れて押圧できる足受入口18Aを形成している。一方、上記固定フード16には、この足受入口18Aと対向するようにリール脚22の他方の足部22Aを受け入れる足受入口16Aを形成している。これらの両足受入口16A、18Aにリール脚22の足を挿入して緊締筒20によって緊締固定する。

【0012】

この固定に際して緊締筒20を緊締するが、この緊締筒20は前記移動フード18側の外周領域20Aを滑らかに形成しており、一方、緊締筒20の前記移動フード18から遠い側の残りの外周（釣竿の後部側）に滑り止め部20Bを形成している。上記滑らかな外周領域20Aの長さは、該緊締筒20の直径寸法程度以上に長く形成し、図3に示すようにリール脚部を手で把持した際に、手の小指側が滑り止め部20Bに到達しないように配慮されている。従って、リール脚22の位置から滑り止め部20Bまでの寸法Lは、8cm程度以上に形成されてい

る。このため図3に示すような釣り操作に際して、把持した手が滑り止め部20Bに到達しないため、手が痛くないと共に、誤って緊締筒20を緩めることがない。

【0013】

前記滑り止め部20Bはプレスによる図示のような凹凸条を円周方向に亘って多数形成したものや、表面を粗面に形成したり、また、これらの凹凸条や粗表面を有する別部材を貼り付けて形成しても良い。この滑り止め部20Bの存在によって緊締操作が容易になり、更には、この滑り止め部20Bは滑らかな外周領域20Aの外径に比較してやや小径に形成している。従って、図3に示すような釣竿操作時に、滑り止め部20Bに誤って手が接触することを防止する効果が向上する。従って、釣り操作中に誤って緊締筒20を緩めることもない。

【0014】

また更に、前記滑り止め部20Bは緊締筒20の一部にしか形成されていないため、緊締操作において不用意な過大な力が作用せず、リールシート本体14を損傷することもない。また、必要に応じて大きな力で緊締する場合は、意識的に滑り止め部20Bを強く把持して緊締操作できる。

【0015】

上記各目的を達成するために、緊締筒20を長目に形成すること以外に、前記移動フード18を長目に形成することもできるが、一般に移動フード18は強度上から金属製であり、これを長く形成すれば重くなり軽量化を目指す釣竿として不適當である。また、以上の説明では、緊締筒20は筒状リールシート12の後側（釣竿の後部側）に位置しているが、本考案には前側に位置している場合も含まれる。この場合は図3に示す把持（手が最も後方に位置する場合）と異なり、薬指と小指との間にリール脚22を挟持して釣竿操作する場合（手が最も前方に位置する場合）にも人差し指が緊締筒20の滑り止め部に接触しない。これ以外の作用効果は上記例と同様である。

【0016】

【考案の効果】

以上の説明から明らかなように本考案によれば、緊締筒の移動フード側の外周

領域が滑り止め部の無い滑らかな面であり、移動フードから遠い外周領域に滑り止め部が形成されているため、釣竿操作時に手が滑り止め部に接触することがなく、把持感が良いと共に釣り操作の手の動きによって緊締筒を不用意に緩めることがない。また、緊締筒の一部に滑り止め部が形成されているため、緊締操作をする場合に過大な緊締力が作用せず、必要な場合には意識的にその滑り止め部を強く把持することによって緊締力を大きくすることができる等、リールの取付、取外し操作が容易である。